

2021 年度

法 人 事 業 計 画 書

社会福祉法人 からし種の会

1. 法人の基本理念

「わたしの父には住むところがたくさんある。もしなければ、あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったであろうか。行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻ってきて、あなたがたをわたしのもとの迎える。こうして、わたしのいる所に、あなたがたもいることになる」

(ヨハネによる福音書 14 章 2 節～3 節)

からし種の会は、キリストの愛と自由の精神に基づき、利用者人権とその方の意思の尊重を重視していきます。安心して利用いただける環境づくりに努めるとともに利用者との契約に基づき、利用者本位の質の高いサービスが総合的に提供されるよう創意工夫していきます。

それにより利用者が個人の尊厳と意志決定を尊重した、安全安心で快適な自立した生活を営むことができるよう支援していきます。また、社会福祉法人としての公共性のもとに、地域社会に開かれた運営をめざします。

2. 法人の経営方針

法人の理念に沿った実践を展開していくためには、安定した持続可能な経営基盤を目指す財務収支の均衡と高い専門性をもって利用者や地域に仕える人材育成が不可欠です。一方で、介護人材の確保のためには、快適な職場環境の形成が不可欠です。そのことから次の経営方針を定め、事業を推進していきます。

- 1 利用者・家族にとって、安全、安心、自分らしさのある快適な生活づくり
- 2 職員にとって、安全、安心、働きがいのある職場環境づくり
- 3 行政、医療、福祉とのよい連携
- 4 地域の家づくりと共生
- 5 持続可能な財政基盤の確立

3 からし種の会が経営している各事業の安定化と質の向上

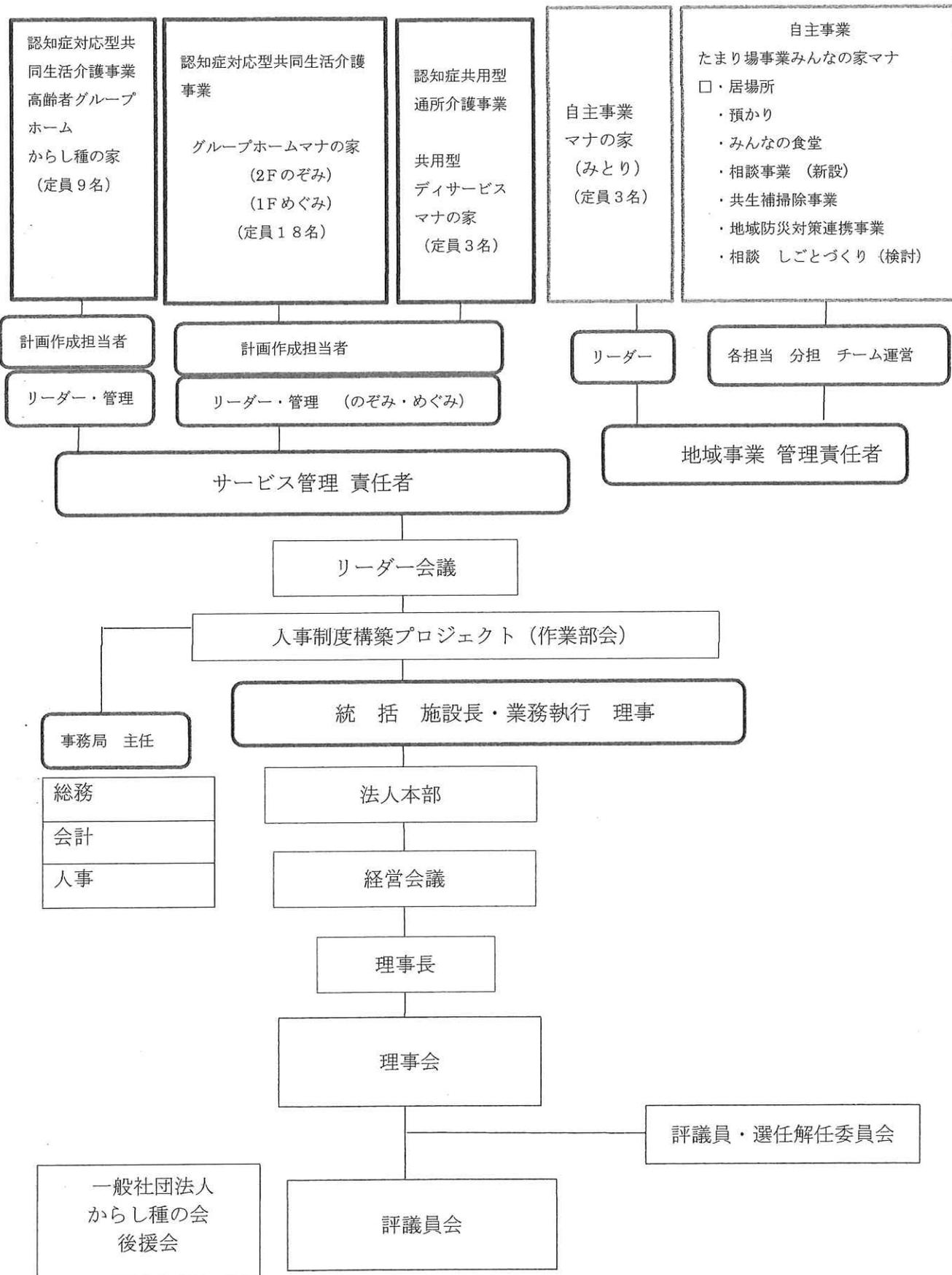
からし種の会	指定事業所番号	指定事業所	事業所名	定員
社会福祉事業	1570102481	認知症対応型共同生活介護	高齢者グループホームからし種の家	9名
	1590100697	認知症対応型共同生活介護	グループホームマナの家 (2018.4.5 増床 開設)	18名
	1590100697	共用型認知症対応型通所介護	共用型デイサービスマナの家	3名
公益事業		法人の独自事業・自主事業 1. 看取りの家 2. 地域公益事業	○マナの家	3名
			○たまり場みんなの家マナ 毎週月曜日 10:00～15:00 ○預かり (上記開催時間内 2名まで) ○みんなの食堂 (月 1回 17:00～19:30) ○共生お掃除事業 毎週金曜日 9:30-11:30 就労支援事業所・気まま舎との連携 ○要支援者等による防災対策事業 コロナ禍にあつて活動中止	

4 組織図

2021年度 社会福祉法人 からし種の会 組織図表

社会福祉事業

公益事業



5. 評議員及び役員等の構成

評議員	理事	監事	評議員・解任委員会
7名	6名	2名	4名

※重点目標：法人ミッション・社会福祉充実計画とその社会福祉充実事業の一体化構想の構築へ

6. 評議員会、理事会開催計画

評議員会	第 1 回	2021 年 6 月下旬	前年度事業報告書、会計決算報告、 社会福祉充実計画、その他
	第 回	2021 年 月 日	定款変更等 その他

理事会	第 1 回	2021 年 6 月 上旬	事業報告書、会計決算報告書、定時評議員会招集等
	第 2 回	2021 年 12 月 中旬	資金収支補正予算、定款変更 その他
	第 3 回	2022 年 3 月 下旬	事業計画並びに資金収支予算、その他

※その他、必要に応じて適時開催

7. 法人借入金償還計画（元金）

借入先	当初借入額	2021年3月末 償還済額	当期償還額	2021年3月末 借入残額	備考
福祉医療機構	63,200,000 円	36,162,000 円	3,492,000 円	27,038,000 円	既存マナの家
	85,000,000 円	10,058,000 円	4,452,000 円	74,942,000 円	増床マナの家
第四北越銀行	15,000,000 円	15,000,000 円	4,214,000 円	0 円	増床マナの家
計	163,200,000 円	61,220,000 円	12,158,000 円	101,980,000 円	

8. 社会福祉充実計画

2020年8月27日付の社会福祉充実計画承認通知をうけ、同年9月1日より当法人の社会福祉充実計画が実施された。2001年度はその2年目にあたる。新型コロナウイルス感染がまだまだ終息が見えないが今年度に立案されている社会福祉充実計画事業を適正に展開していく。

※重点目標：法人ミッション・社会福祉充実計画とその社会福祉充実事業の一体化構想の構築へ

具体的目標 2021年度 社会福祉充実計画事業

① 社会福祉事業及び法第2条第4講第4号に規定する事業に該当する公益事業

② 地域公益事業

- ・たまり場・みんなの家空間整備事業
- ・共生お掃除事業（2年計画最終年度）
- ・地域・防災連携事業（2年計画最終年度）
- ・相談事業（新設事業） 2020年度は事業開設準備、2021年度よりスタート

社会福祉法人からし種の会

2021年度 法人事業計画書

「わたしの父には住むところがたくさんある。もしなければ、あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったであろうか。行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻ってきて、あなたがたをわたしのもとの迎える。こうして、わたしのいる所に、あなたがたもいることになる」

(ヨハネによる福音書 14 章 2 節～3 節)

I 法人事業計画

1. 2021年度事業計画基本方針 (重点課題)

「見直しと人事制度の構築」

- (1) 創立の精神のもとに職員が喜びと誇りを持って働くことのできる人事制度づくりの取り組み
- (2) 2年目の社会福祉充実計画に基づく事業実施と連動する地域福祉実践の取り組み
- (3) 財政体質を強化する取り組み
- (4) 法人の理念を理解して働く職員の採用・定着に取り組む

2. 重点課題への取り組み

- (1) 創立の精神のもとに職員が誇りと喜びを持って働くことのできる人事制度づくりの取り組み
 - ① 人事制度構築プロジェクト(作業部会)による人事制度計画の策定と実施
 - ② 人事制度構築支援サービスを利用し、制度の見直しと制度の構築の基盤をつくる。
 - ③ 人事制度を導入することで意欲的に働くことのできる職場環境を整える。
- (2) 2年目の社会福祉充実計画に基づく事業実施と連動する地域福祉実践の取り組み
 - ① コロナ禍の中でより地域共生お掃除事業の展開と気まま舎とのつながりの強化
 - ② 要支援者等の福祉避難所におけるコロナ対応整備事業
ーコロナ禍の中でできるオンライン会議・研修等における地域連携と備品の整備
 - ③ たまり場・みんなの食堂空間整備実施改修工事
 - ④ 相談事業の体制づくりー基盤整備と相談窓口の開設
- (3) 財政体質を強化する取り組み
 - ① 組織の変更により管理体制を整え、職員一人ひとりの個性を活かした職場づくりに取り組む。
 - ② 法人全体の経営状況の改善を図る。
 - ③ 利用者の入退居環境の改善を図ることにより、全体の稼働率を95%以上に努める。
 - ④ 利用契約書・重要事項説明書等の見直し改善を図る。
 - ⑤ 税理士法人さくら総合会計による巡回指導と経営会議の連動による経営管理を強化する。
- (4) 法人の理念を理解して働く職員の採用・定着に取り組む
 - ① あらゆる求人サイトを活用し、幅広い人材確保に努める。
 - ② 法人の理念を理解できる研修・教育体制を強化する。
 - ③ 職員一人ひとりの力を発揮できる役割を示し、自主的に働ける環境を整備する。

<2021 年度 新規事業>

事業	社会福祉充実計画の適正なる管理・充実事業整備事業（2年目）
目的	法人ミッションと社会福祉充実計画並びに社会福祉充実事業の一体化構想の構築を目指し、段階的（5年間）に実施していく。
内容	① 新しいからし種の家構想を描く。 ② 上記に必要な土地の確保・事業内容等を検討してく。

事業	人事制度構築支援サービスの利用によるスムーズな移行整備事業
目的	職員が喜びと誇りを持って働くことのできる人事制度づくりの取り組み、翌年度から運用をスタートする。
内容	① 人事制度構築プロジェクト(作業部会)を結成し、職員が喜びと誇りをもって働き続けられる人事制度設計を楽しんで創っていく。 ② 専門家に業務委託する（人事制度構築支援サービスを利用） ③ 導入から完全移行までの期間を1年設ける。

事業	相談事業
目的	何でも相談(仮称)を実施していく。
内容	① なんでも相談窓口を開設していく。 ② 相談員を配置していく。 ③ 相談事業の体制・基盤整備を行っていく。

認知症対応型共同生活介護・グループホーム 事業計画（全体）

2021年度事業計画

事業所

1. からし種の家（1ユニット）
2. マナの家（2ユニット）

全体の重点目標

1. 法人の運営理念や組織・各事業の資源を知り、活かす。
2. 組織編成をすることにより、情報共有の効率化を図る。
3. 職員一人ひとりの力を発揮できる役割を示し、自主的に働ける環境を整備する。
4. コロナ禍での利用者の満足感の取り組み

基本理念

本事業は、キリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

基本方針

1. その人の持てる力を引き出す。
2. 地域とかかわりながら暮らす。
3. 生き方や価値観を尊重し、互いに認め合う。
4. 自由な暮らしを継続支援する。

重点目標

- 1、入居されている方それぞれの生き方や価値観を尊重し、入居者とご家族を含め職員それぞれがお互いに認め合う。
- 2、コロナ禍での利用者の満足感への取り組み
- 3、入居者、職員の入れ替わりのある暮らしの中で、からし種の家居心地の良い雰囲気を継続し守っていく

行動計画

1 <具体策>

- ・一人ひとりの発する言葉をしっかりと受け止め、ご本人の思い・意向にそった安心できる環境を共に創っていく。
- ・入所前に今までの暮らしや生活歴を家族から聞きとり、いままでの暮らしを出来るだけ継続できるよう支援する。
- ・ご利用者の言動を常に自分の身に置き換えて考える習慣を身に着ける。
- ・排泄、入浴、一人になる時間等のプライバシーに配慮した支援を心がける。
- ・入退居室の移動みる変化への対応を職員間できちんと情報共有し、アセスメント、モニタリングを適切に行い、ケアプランに反映させていく。
- ・お互いに報告・連絡・相談できる職場環境の中でご利用者の尊厳ある暮らしを整える。
- ・新しい入居の方と職員一人一人が信頼関係を深めていく。そのために寄り添い、言動、行動からご本人の気持ちを理解していく。

2 <具体策>

- ・新型コロナウイルス感染防止策を取りつつ、その中でできる「外出」周辺の散歩、利用者の満足感につながる実践に取り組んでいく。
- ・面会等の制限続いている中で、TV 通話の活用や臨時面会室の環境を整えることでご本人とご家族とが繋がる機会を維持していく。またご家族との電話の際はご本人の様子をお伝えし安心していただけるよう取り組む。

3 <具体策>

- ・新しい入居者の方が入られた際は、すでに入居されている方にも影響があることを職員が理解し、入居者お一人お一人の変化を見逃さないようにする。
- ・必要に応じてテーブルの席替えや個別ケアのサービス内容を見直していく。
- ・新しい職員が入った際は、基本方針の確認をし、からし種の家の特徴や雰囲気を理解してもらい引き継いでいく。
- ・稼働率を 95%以上とするように、待機者との関係性・連絡をとっていく。

グループホーム マナの家 2021年度事業計画

基本理念

本事業はキリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

基本方針

1. その人の持てる力を引き出す。
2. 制約されないケア。
3. 地域と関わりながら暮らす。
4. 生き方や価値観を尊重し、互いに認め合う。
5. 自由な暮らしを継続支援する。

重点目標

1. 利用者の残された機能・能力の維持に努め、ホームでの暮らしが継続できるよう支援する。
2. 防災や感染症等に強い環境作り
3. 働きやすい職場環境づくり

行動計画

1. 利用者、家族の意思を尊重し支援するとともに、家族・主治医・看護・職員の連携を図り、安心・安全な介護を提供する。

<具体策>

- ① 生活の様子を観察、見守りを行い、心身機能や認知の低下を把握する。必要時に看護や主治医、ご家族に相談し早めの受診に繋げる。
- ② ご意見箱の設置場所を見直し、よりご家族からの意見を届きやすくする。
- ③ 歩行や体操を日常的に行い、機能低下を防ぎ、体力向上につなげる。
- ④ 事故報告書やヒヤリハット報告書の内容確認を徹底し、情報共有を行う。
また、対策検討・改善を早期に取り組み、介護事故防止・早期発見に努める。
- ⑤ 感染対策を行いながら散歩や外出の機会を増やし、地域との関わりを絶やさないうよう支援していく。
- ⑥ ユニット間でのご利用者同士の交流が深まるように支援していく。

2. 防災や感染症等に強い環境作り

<具体策>

- ① 災害や緊急時にわかりやすく、取り出しやすくするため、保管場所の見直し・整理を行う。
- ② 指定災害避難所等の経路について職員全員がご利用者との散歩等兼ねて把握する。
- ③ 職員やユニット間のチームワークや職業人として向上を目指し、コミュニケーションを図っていく

<具体策>

- ① ユニット間、定期ミーティングを行い、情報の共有化を図る。
- ② お互いに言葉がけや接遇マナーを振り返り、気付いた時に言い合える職場環境を整える。
- ② チームで取り組んでいることを意識しながら、一人に仕事が偏らないよう常に声を掛け合う。

グループホーム マナの家 2021年度 年間行事計画

	内容	備考
4月	イースター 春のお出かけ（ドライブ・お花見）	お茶会
5月	笹団子・ちまき作り（ユニット毎に）	誕生日会
6月	避難訓練	お茶会
7月	七夕祭り（ユニット毎に）	誕生日会
8月	納涼会	誕生日会
9月	有明地区防災訓練参加 敬老のお祝い	誕生日会
10月	秋のお出かけ（ドライブ・紅葉散策）	お茶会
11月	有明地区合同作品展・福祉バザー 避難訓練	お茶会
12月	クリスマス会 大掃除 お正月準備	誕生日会
1月	新年のお祝い	お茶会
2月	節分	お茶会
3月	ひな祭り おはぎ作り	お茶会

お誕生日を迎える方の月はお誕生日会を実施、
その他の月はお茶会として季節のお菓子とともに集う

基本理念

本事業はキリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

活動方針

1. 自己決定、自己実現ができる。
2. 制約されないケア。
3. 地域と関わりながら暮らす。
4. 生き方や価値観を尊重し認め合う。
5. 自由な暮らしを支援する。

重点目標

1. 利用者のニーズに合わせたサービスを提供し、必要な部分の介護を通いながら受けることで住み慣れた地域での生活ができるように支援していく。
2. ご利用者の増加を図るべく居宅介護支援事業所と連携し、稼働率70%に向上させる。

行動計画

1. より良いケアの提供

<具体策>

- ・入浴や食事、トイレ誘導など、ケアプランに沿ったケアを職員は実践し、会議時に検討見直しを行う。
- ・ご本人の認知や身体機能の変化に気づけるよう寄り添い、状態観察を徹底し健康管理に努める。変化に気づいた際にはご家族、関係各所に連絡を行い適切に対応する。
- ・安心、安全な送迎を継続し、福祉車両の使用方法や運転マナーを再確認する。

2. 共用型デイの特性を生かした利用の促進

<具体策>

- ・居宅介護支援事業所と連絡を密にとり、デイ利用の状況を伝える。
- ・感染症対策に取り組みながら、小規模で家庭的な雰囲気の中、認知症の方と共に過ごすことを体験していただき、サービス利用につなげる。
- ・利用者確保にむけて、居宅介護支援事業所等の関係機関に空き状況を随時伝えていく

地域福祉事業 マナの家・みんなの家マナ 2021年度 事業計画

基本理念 親子が地域で安心して子育て・子育てができる。
障がいがあっても、老いても、安心して住み慣れた地域でずっと暮らせる。
地域で支え合い、地域で育て、地域で見守るたまり場を提供し、交流を図る。
赤ちゃんからお年寄りまで（1日2名まで）、安心して預かることができる。

重点目標

1. 自主事業の発展と拡大により、総合的に管理運営する必要が生じたため、組織編成を行う。
2. 公益事業としての各事業の連携、スタッフ間の情報の共有化を図っていく。
3. 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底化、クラスターを出さない。
4. コロナ禍での創意工夫による地域住民との新たな出会いとつながりの継続性に取り組む

各事業計画

1. マナの家（みとり支援）

- ① 重度のご利用者が多いため、新型コロナウイルス感染防止策の徹底化を図る。
そのため、対策内容を見えるように掲示、物品の配置を行い、職員間の意識の共有と実践を行っていく。
- ② 住み慣れた地域で、尊厳をもって、その人に応じた自立した生活を、安心・安全に継続してゆくために、ご本人が楽しめる音楽、YouTubeの活用等を試みしてみる。
- ③ 利用者の状況に応じて、居宅サービス等を上手に組み合わせながら、自立支援を行っていくとともに、担当者会議などにご本人・ご家族の参加できる環境を整えていく。
- ④ 看取り介護の充実を図るため、主治医やケアマネージャー、訪問看護や訪問入浴など、地域医療ならびに関係機関との情報交換を密にし、信頼関係を築きながら、本人とご家族の意向に添える安らかな自然死を迎えられるよう支援する。
- ⑤ ④のより実現のために、「緊急時や終末期における医療・看取り介護などに関する意思確認書」を見直し、ACP（事前確認書）を整備する。
- ⑥ その上でご本人ご家族と十分に話し合い、ご本人の望む意向を示すACP（事前確認書）を全利用者（3名）と再度、文書で交わす。
- ⑦ 稼働率を100%に近づけることを目標に、自主事業としての健全な経営をめざす。

2. 地域公益事業

- (1) たまり場・みんなの食堂空間整備事業
① たまり場・みんなの食堂開催事業計画（別紙のとおり）
- (2) 共生お掃除事業（2年間計画最終年度）
- (3) 地域・防災連携事業（2年間計画最終年度）
- (4) 相談事業（新設事業）2020年度事業開設準備 2021年度スタート
※ (1)～(4)の事業計画については法人事業計画のとおり。

3. みんなの家(エクレシア)

- ① コロナ禍での日曜さんび礼拝を各事業所で巡回し、ささげる。
必要によりZoom礼拝とする。
- ② 礼拝説教奉仕を引続き、盛合尊至牧師、佐藤静子牧師、小淵康而牧師に協力依頼する。

2021年度 たまり場・みんなの食堂年間計画

月	たまり場 (月曜) 10:00~11:30	イベント等	みんなの食堂 手作りお弁当配布
4	休		26 夕食
5	10 (1回)	庭遊び 土いじり・花植え	24 夕食
6	14 (1回)	外遊び シャボン玉	28 夕食
7	12 (1回)	水遊び 水てっぽう	26 夕食
8	休	※5・6・7月雨天時は室内上 映会等	23 夕食
9	13 (1回)		27 夕食
10	11 (1回)		25 夕食
11	13 (土) (1回)	みそ作り	3 合同バザー、販売
12	13 (1回)	クリスマス会	20 クリスマス食堂・夕食
1	休		24 夕食
2	8 (1回)		28 夕食
3	14 (1回)		21 夕食

※たまり場開催時は
預かりも実施

開催 計 9回

みんなの食堂開催 計 12回

・わくわくプロジェクト運営会議 (参加者: 西有明町福祉の会メンバー、新潟市西区社会福祉協議会、新潟県立大学小池先生 (からし種の会評議員)、からし種の会理事長、マナの家職員)

3~4ヶ月に1回開催

・職員、ボランティア研修参加 (見学研修等)